

JP103 白山 (はくさん)

富山県：南砺市

石川県：金沢市、白山市

福井県：勝山市、大野市

岐阜県：郡上市、高山市、飛騨市、白川村

位置	N 36° 09′ E 136° 46′
面積	119,000ha

環境構成【森林】

日本有数の豪雪地帯に位置し、人間の通年定住を許さなかった厳しい環境が、近年まで原生的な自然を保持し得た理由であり、山稜を覆う広大なブナ林をはじめとした原植生は、多様な動植物たちを育んできた。

植生の特徴は白山の頂上から登山口まで垂直に高山帯、亜高山帯、ブナ帯に分けて見られる。白山の頂上、御前峰（ごぜんがみね 2702.2m）から標高 2,300mの弥陀ヶ原、南龍ヶ馬場附近までが高山帯である。ここは環境が特に厳しく、ハイマツ帯、風衝地、雪田、高茎草原が点在する。

標高 2,300m から 1,500m は亜高山帯でダケカンバやアオモリトドマツが低木状に生育しており、急斜面では高茎草原やチシマザサ草原が見られる。標高 1,500m 以下登山口の 1,000m 附近は白山を特徴付けるブナ帯でブナ、ミズナラ、イタヤカエデ、オオカメノキ、チシマザサが生い茂り、豊かな落葉広葉樹林を形成している。



写真：酒井輝夫

選定理由

A3

-

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

県指定鳥獣保護区（初河、三ノ峰、願教寺）、国立公園（白山）、都道府県立自然公園（白山一里野県立自然公園）、自然環境保全地域、保護林

保全への脅威

- ・ 不十分な森林管理
- ・ 大規模土木工事（砂防工事、林道、河川工事）
- ・ 観光／リクリエーション施設拡充による生態系破壊
- ・ 外来生物の蔓延

保全活動

- ・ 環境教育活動：実施者（日本野鳥の会石川）
内容：探鳥会
- ・ モニタリング調査：実施者（日本野鳥の会石川）
内容：鳥類生息調査
- ・ その他
保護活動（要望書の提出）（日本野鳥の会石川）

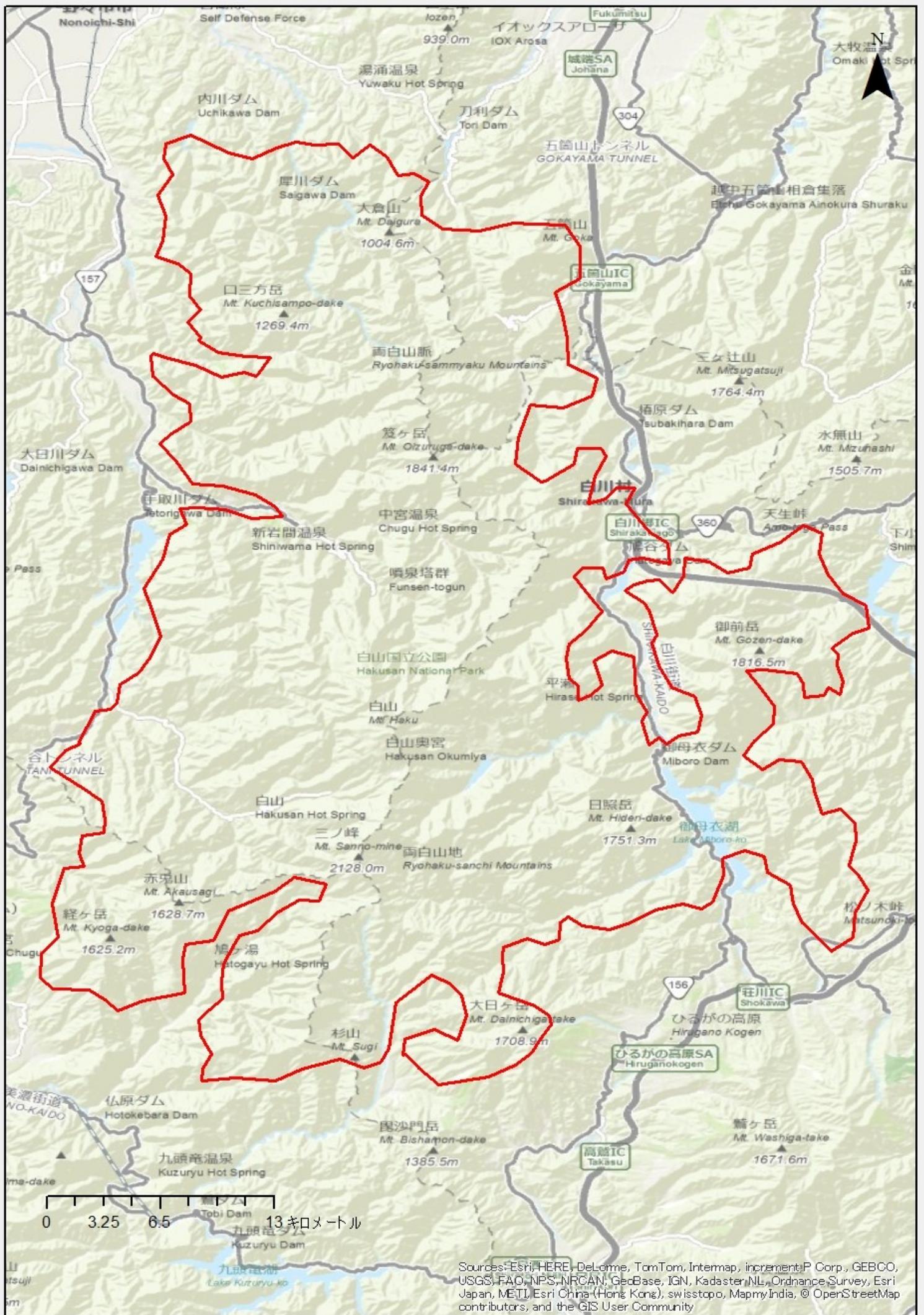
見られる鳥

白山の高山帯、亜高山帯から麓の標高 300m以上の地域にて観察される鳥類。
2009 年にライチョウが 70 年ぶりに確認された。

留鳥	オシドリ、カルガモ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、クマタカ、イヌワシ、ヤマドリ、キジ、キジバト、アオバト、フクロウ、ヤマセミ、カワセミ、アオゲラ、アカゲラ、オオアカゲラ、コゲラ、ヒバリ、セグロセキレイ、モズ、カワガラス、ミソサザイ、イワヒバリ、トラツグミ、キクイタダキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、オオルリ、ウソ、イカル、スズメ、ムクドリ、カケス、ホシガラスなど
夏鳥	ゴイサギ、ササゴイ、アマサギ、コサギ、ハチクマ、サシバ、チョウゲンボウ、イソシギ、ジュウイチ、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、コノハズク、ヨタカ、ハリオアマツバメ、アマツバメ、アカショウビン、ツバメ、イワツバメ、ビンズイ、サンショウクイ、アカモズ、カヤクグリ、コルリ、ルリビタキ、クロツグミ、ヤブサメ、ウグイス、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、サメビタキ、ホオジロ、ノジコ、クロジ、ニューナイスズメなど
冬鳥	マガモ、コガモ、オナガガモ、カワアイサ、オジロワシ、オオワシ、ノスリ、ヒレンジャク、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、アトリ、マヒワ、ハギマシコなど
旅鳥	オオミズナギドリ、アカハラダカ、オバシギ、ヤツガシラ、ノゴマ、イソヒヨドリ、マミチャジナイ、シマセンニュウ、ミヤマホオジロ、イスカ、ベニマシコなど
迷鳥	シラオネツタイチョウ、ヤイロチョウ

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会富山
- ・日本野鳥の会石川
- ・日本野鳥の会福井県
- ・日本野鳥の会岐阜
- ・ブナオ山観察舎



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community